

組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。

ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

●お守りいただく内容を示しています



禁止

「行ってはいけない」内容です。



必ず守る

「行わなければならない」内容です。

注意

●組立および設置時の注意

必ず守る	組立、設置、移動は2人以上で行ってください。移動する時は引きずらず持ち上げて運んでください。 →ケガをしたり、破損したり、建物の内装を傷つける恐れがあります。
禁止	組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。
必ず守る	水平で平滑な床面に設置してください。 →不安定な場所に設置すると、がたついたり転倒や引出しの開閉に支障が出る恐れがあります。
禁止	説明書に記載されている組立パターン以外の組立や改造等はしないでください。 →破損してけがをする恐れがあります。
必ず守る	転倒防止金具が付属されている書棚等を単独で使用する場合、必ず転倒防止金具を使って書棚を壁または柱などへ固定してください。 →転倒して破損したり、けがをする恐れがあります。
禁止	直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。
必ず守る	組立のパターンによって使用しない部品や部材が残る場合があります。 →紛失しないよう大切に保管してください。

●天然木の製品は木目柄、色に多少のばらつきがあります。

このため展示品とお届け品では木目柄、色が異なる場合があります。

DecoPri

【品番】

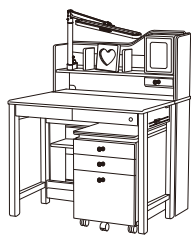
●SDF-446 PWPM

●SDF-447 PWRM

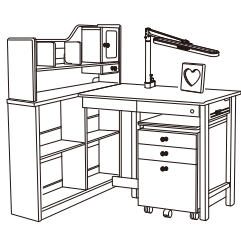
！ 組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3、STEP4、STEP5と、用途に応じて5種類のスタイルに組み立てることができます。どのスタイルにするか決めてから「1 シェルフ→2 デスク→3 デスクとシェルフの組み付け」の順に組立て方法のSTEPをご覧になりながら組み立ててください。

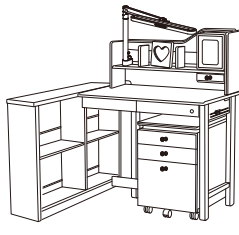
※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。



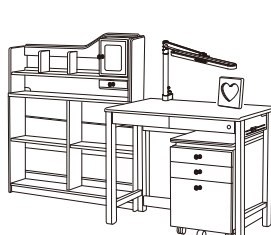
●STEP1
(スタンダードスタイル)



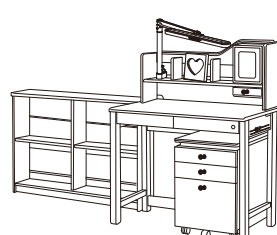
●STEP2
(ユニットデスクスタイル)
※左右の組替えが可能です。



●STEP3
(カウンタースタイル)
※左右の組替えが可能です。



●STEP4
(ゼバレストスタイル)

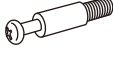


●STEP5
(ゼバレストカウンタースタイル)

1 シェルフの組立て方法

※シェルフから組立てると少ないスペースで組立てが行えます。

■シェルフ下台付属品

A	B	C	D	E	F
ボルト(M6×35mm)	連結ピン	回転金具	樹脂棚ダボ	ユニット連結金具	ボルト(M6×16mm)
WIN1BJ635	LTF9MB605	LTF9MKN18	SZCTTD09G	SZC3LK14U	WIN4BA616 (ユニット時金具用)
					
×5	×14	×4	×4	×2	×6

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。

① 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。

→お子様が飲み込むことがあります。

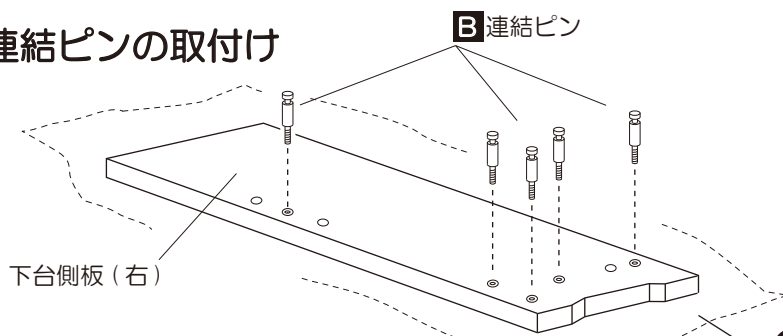
① スタイルにより、使用しない部品や部材が生じる場合があります。

組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。

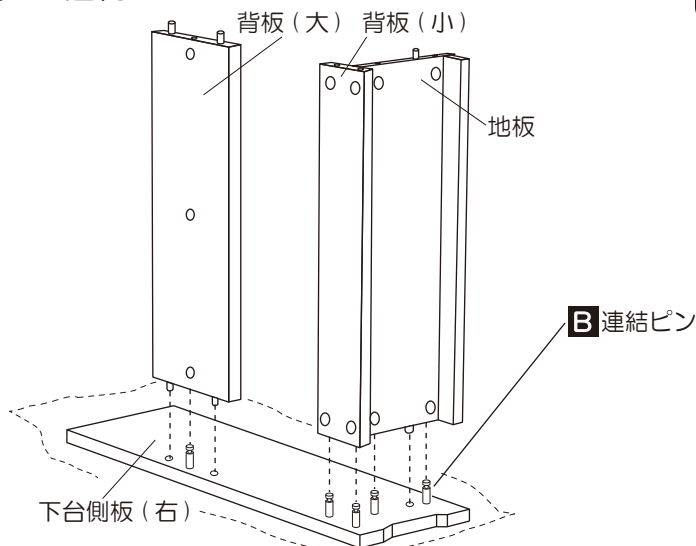
→部品紛失の場合はご購入いただくことになります。

1 下台の組立て方法

1 B 連結ピンの取付け

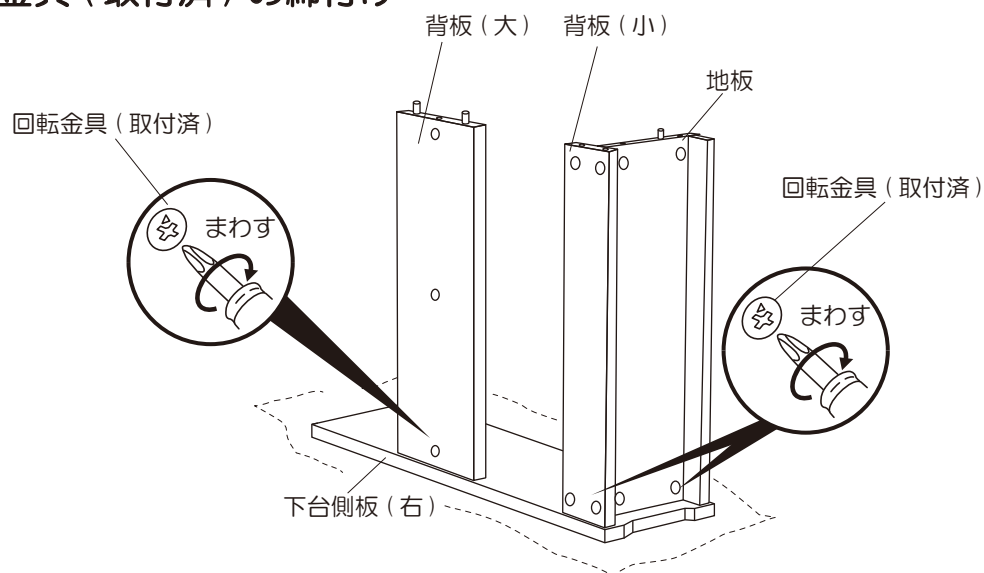


2 背板・地板の組付け

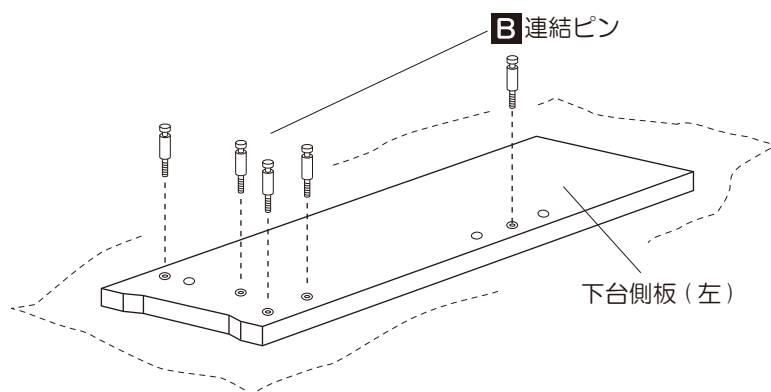


① 床にキズがつかないように
毛布等を敷いてください。

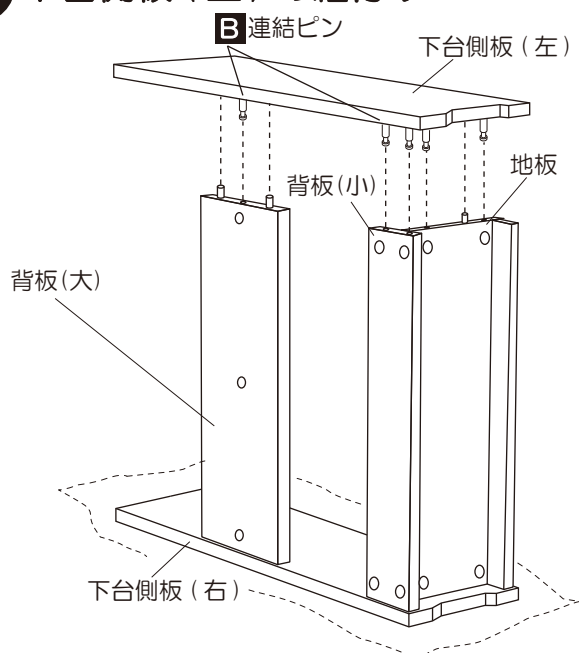
③ 回転金具（取付済）の締付け



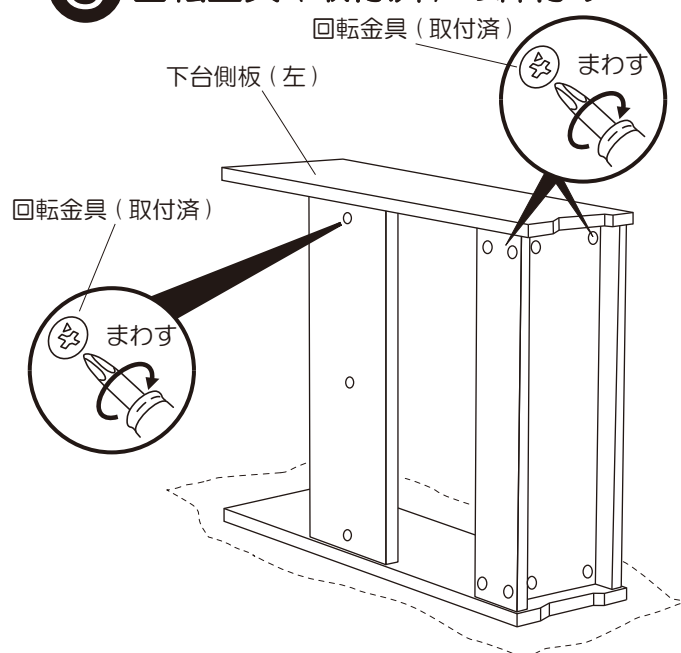
④ B 連結ピンの取付け



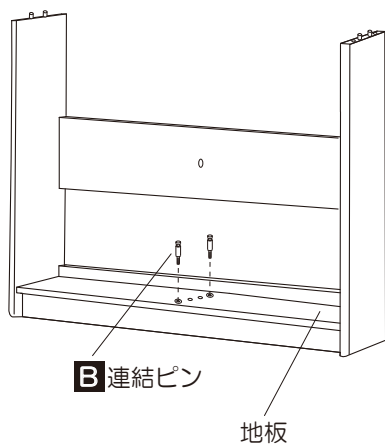
⑤ 下台側板（左）の組付け



⑥ 回転金具（取付済）の締付け

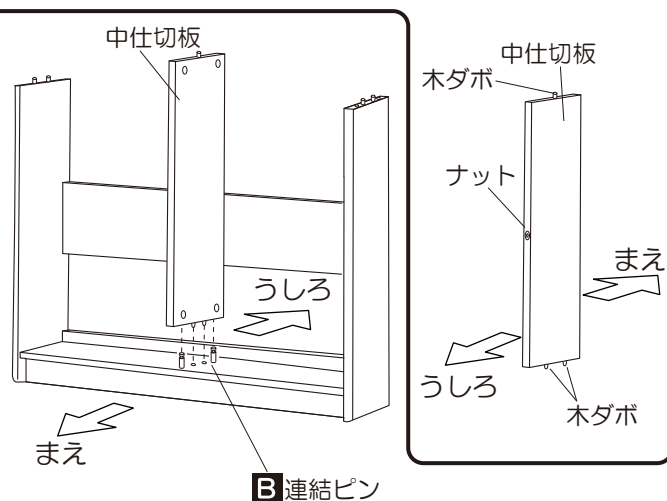


7 B 連結ピンの取付け

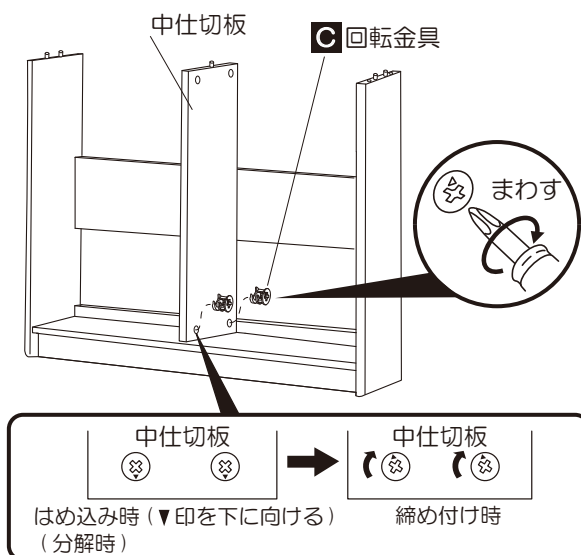


8 中仕切板の組付け

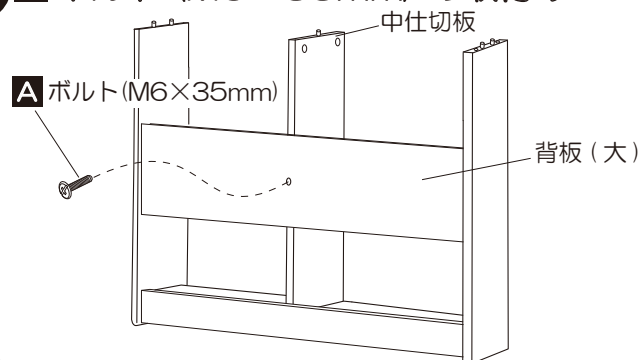
①中仕切板は右下図のように背面にナットが、木ダボ2本の面が下向きになるように組み立ててください。



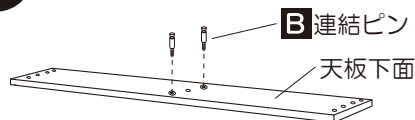
9 C 回転金具の取付け・締め付け



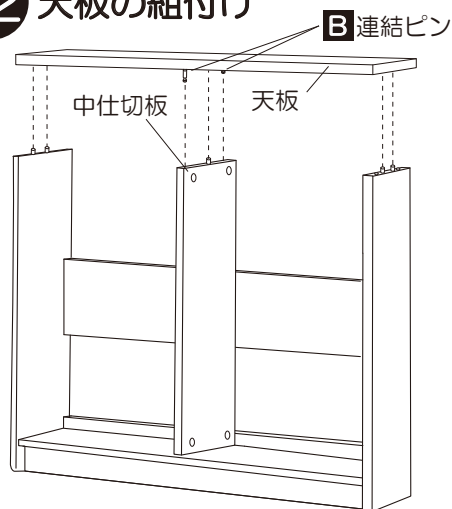
10 A ボルト (M6×35mm) の取付け



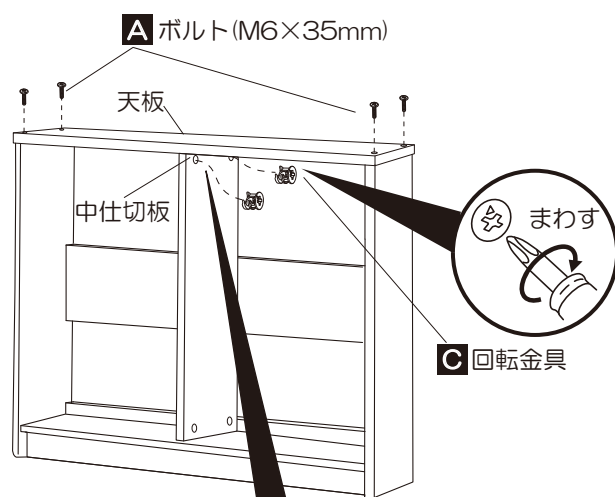
11 B 連結ピンの取付け



12 天板の組付け

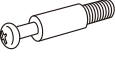
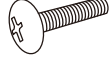
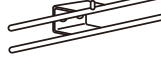


13 C 回転金具の取付け・締め付け A ボルト (M6×35mm) の取付け



2 デスクの組立て方法

■デスク付属品

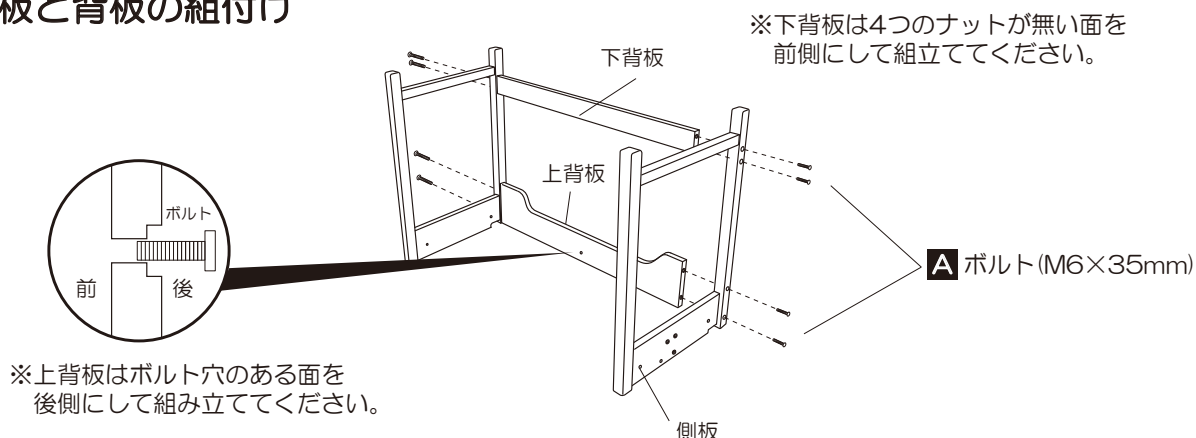
A	B	C	G	H	I	J	K
ボルト(M6×35mm) WIN1BJ635	連結ピン LTF9MB605	回転金具 LTF9MKN18	穴かくしキャップ SZCTAC18W	ナット用キャップ SZC4DC17W	ボルト用キャップ SZC4BC19W	カバンフック SZC4KF20W	トラスボルト(M6×25mm) WIN1BWJ25
 ×13	 ×2	 ×4	 ×2	 ×3	 ×4	 ×1	 ×1
L	M	N	O	P	Q		
ボルト(M6×16mm) WIN4BJ616	拡張天板固定金具 WIN2LKSUK	ボルト(M6×90mm) GKU2BU690	ガッチリ金具 SZC1GK230 (M6×30mm) ×2 ×1 セット	ランドセルハンガー TIT4KFRAN ×1	ボルト(M6×16mm) WIN4BJ616 ×2 ※部品バックに付属	カギ LTF1KD506 1 セット	デコシール SUN2JW2DK 1 セット
 ×6	 ×2	 ×2	 ×2 ×1 セット	 ×1	 ×2 ※部品バックに付属	 1 セット	 1 セット

- ① 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
→ お子様が飲み込むことがあります。
- ① スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
→ 部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

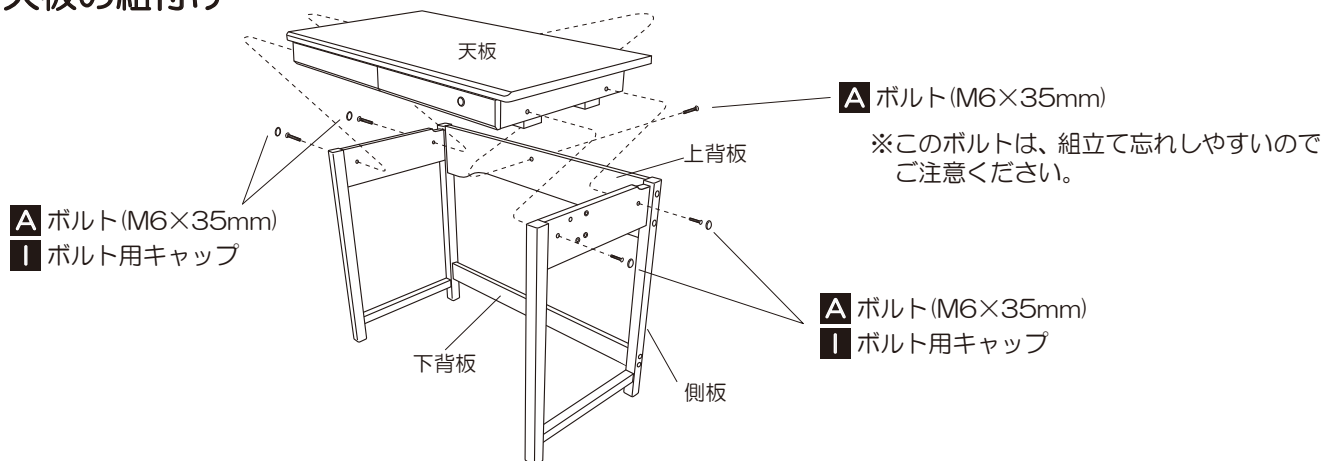
※枠内の9桁表記は、部品品番となります。
※デコシールの貼り付けについては、シールに付属している説明書をご参照ください。

STEP1・STEP4・STEP5の場合

1 側板と背板の組付け



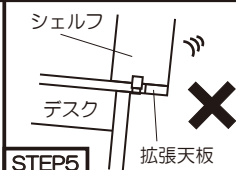
2 天板の組付け



3 拡張天板の取付け・収納

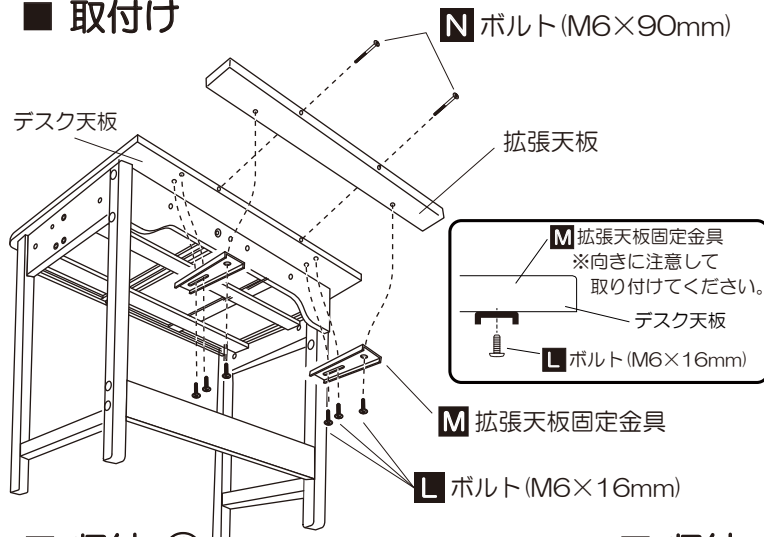
●拡張天板は取付け、収納どちらにするかをお選びいただけます。

○STEP1・STEP5の場合は拡張天板を取り付けた状態でお使いいただけません。
 拡張天板は収納してお使いください。
 STEP1の場合、ユニット連結金具でのシェルフとの組付けができません。
 STEP5の場合、デスクの安定性不足による、転倒・破損の原因になります。



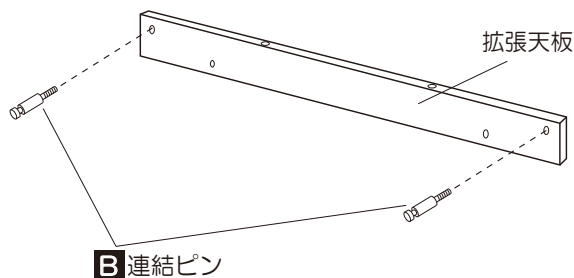
STEP5

■ 取付け



■ 収納-①

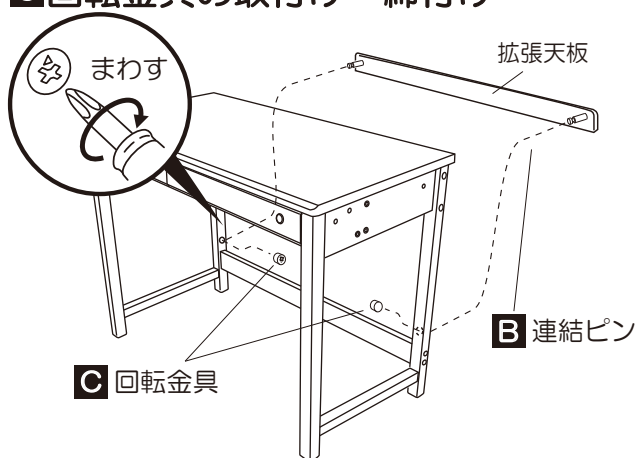
B 連結ピンの取付け・締付け



■ 収納-②

拡張天板の組付け

C 回転金具の取付け・締付け

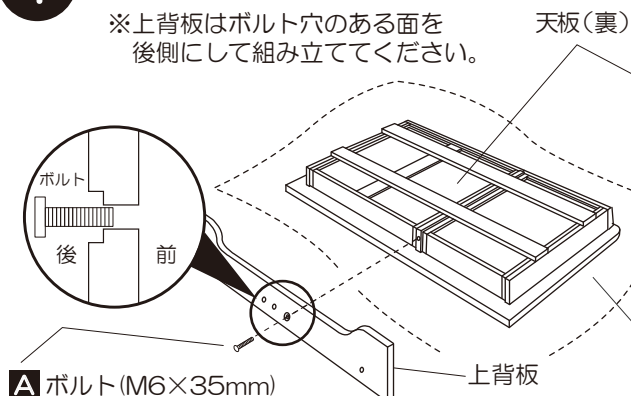


STEP2・STEP3の場合

※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(この真下の図)
 右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

1 上背板と天板の組付け

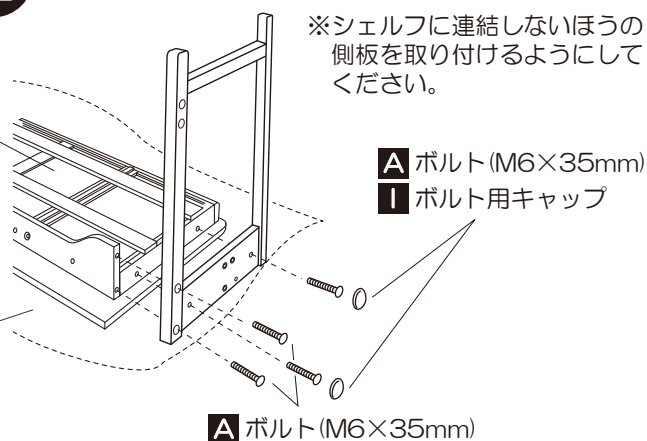
※上背板はボルト穴のある面を後側にして組み立ててください。



※このボルトは、組立て忘れしやすいのでご注意ください。

2 天板と側板との組付け

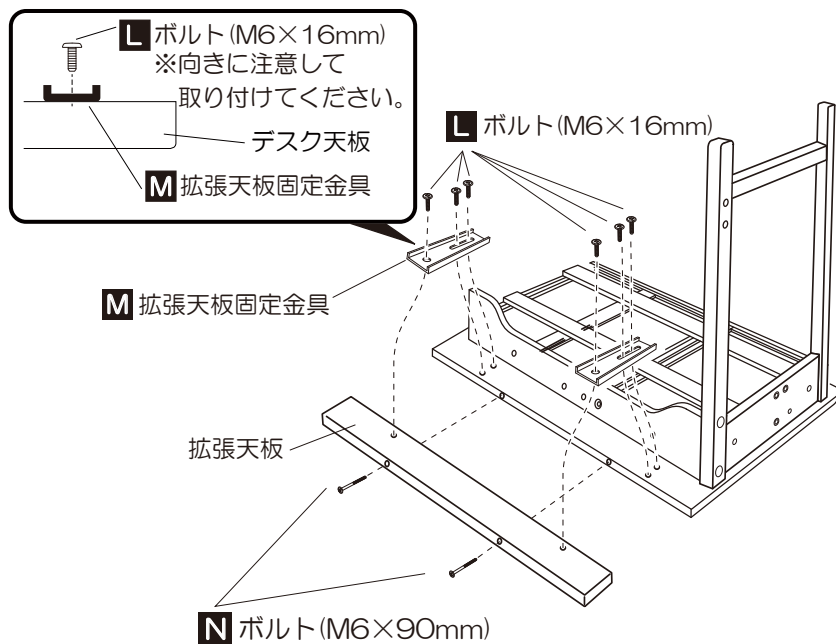
※シェルフに連結しないほうの側板を取り付けるようにしてください。



3 拡張天板の取付け・収納

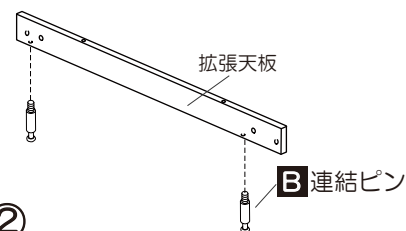
●拡張天板は取り付け、収納どちらにするかをお選びいただけます。

■ 取付け



■ 収納-①

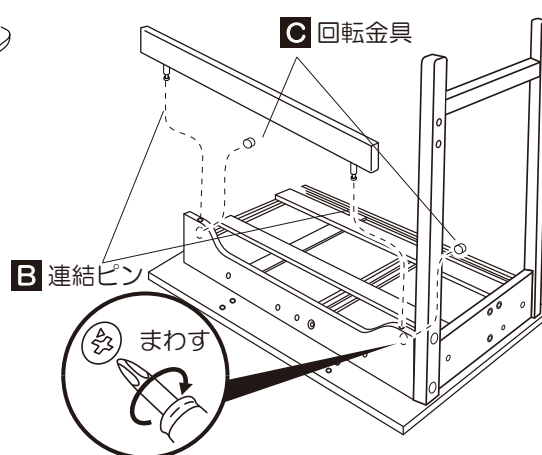
B 連結ピンの取付け・締付け



■ 収納-②

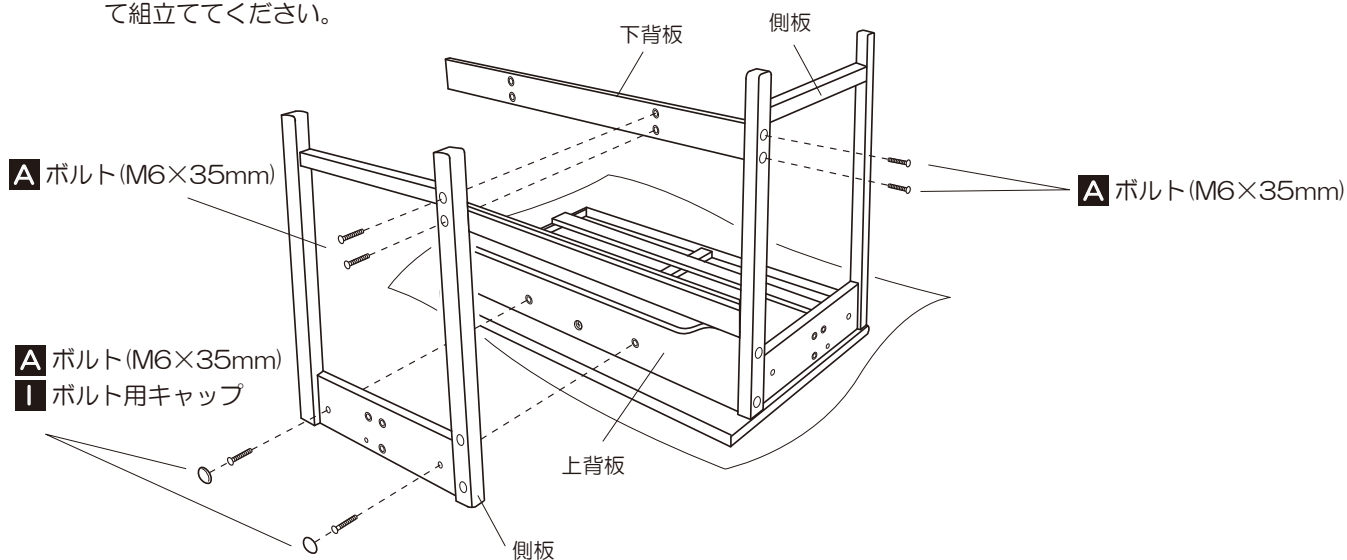
拡張天板の組付け

C 回転金具の取付け・締付け



4 側板と下背板の組付け

※下背板は4つのナットが無い面を前側にして組立ててください。



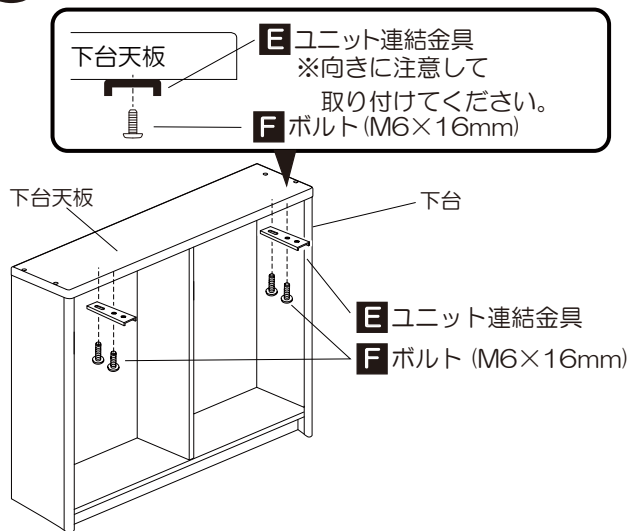
3 デスクとシェルフの組付け方法

■シェルフ上台付属品

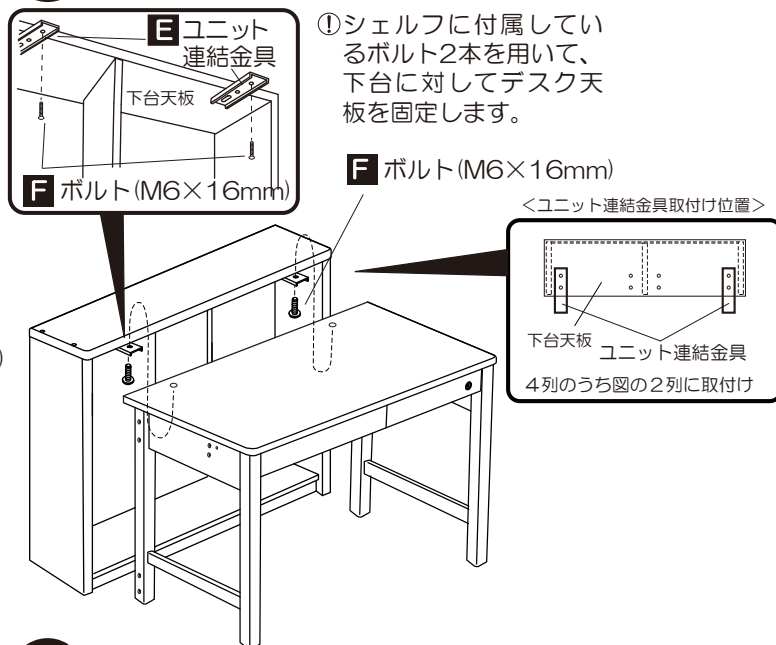
B 連結ピン LTF9MB605 ×4	C 回転金具 LTF9MKN18 ×4	D 樹脂棚ダボ SZCTTD09G ×2	G 穴かくしキャップ SZCTAC18W ×1	H ナット用キャップ SZC4DC17W ×9	R コンセントボックス KRE9SW10L ×1	S ボルト(M6×35mm) WIN1BJ635 ×1
T ハートミラー ×1	U ミラー用支柱ピン WIN5SPBJ1 ×1 ※部品バックに付属	① 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。 →お子様が飲み込むことがあります。 ② スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。 →部品紛失の場合はご購入いただくことになります。			※枠内の9桁表記は、部品品番となります。	

STEP1の場合

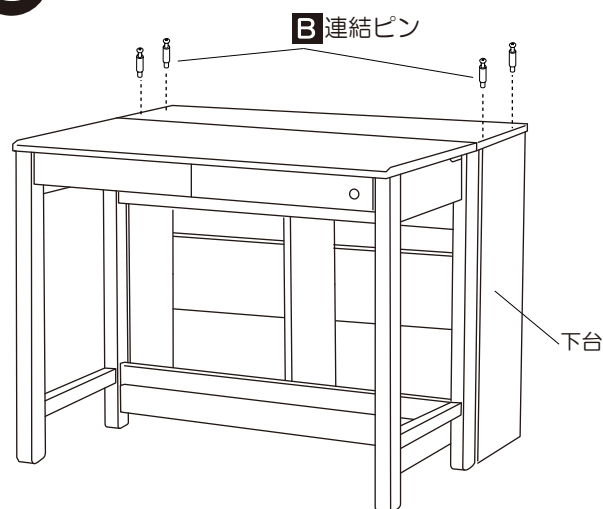
1 Eユニット連結金具の取付け



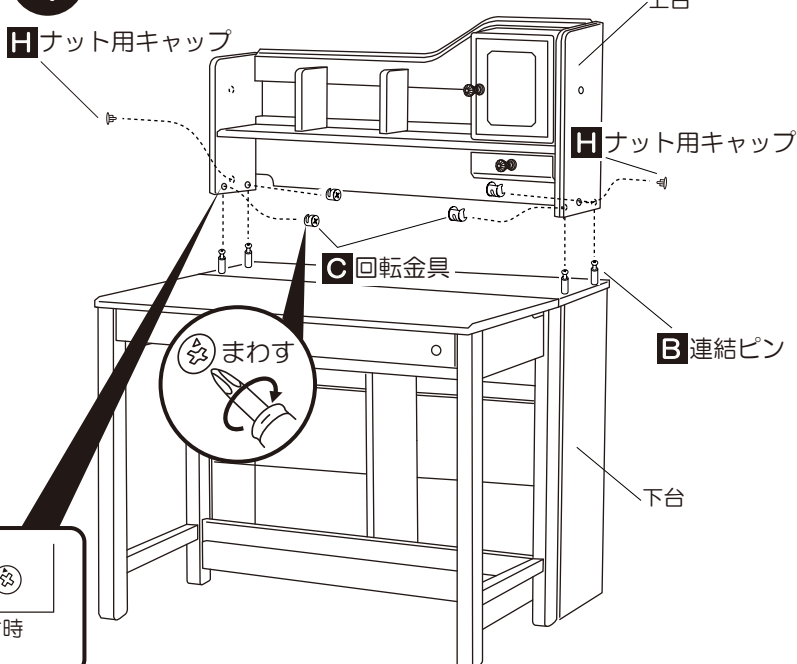
2 下台とデスクの組付け



3 B連結ピンの取付け



4 上台と下台の組付け

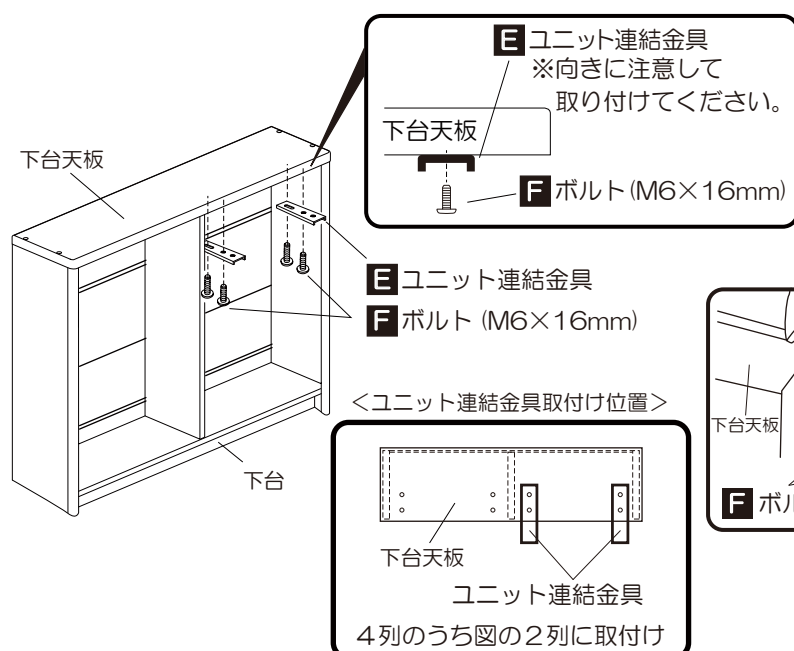


STEP2・STEP3の場合

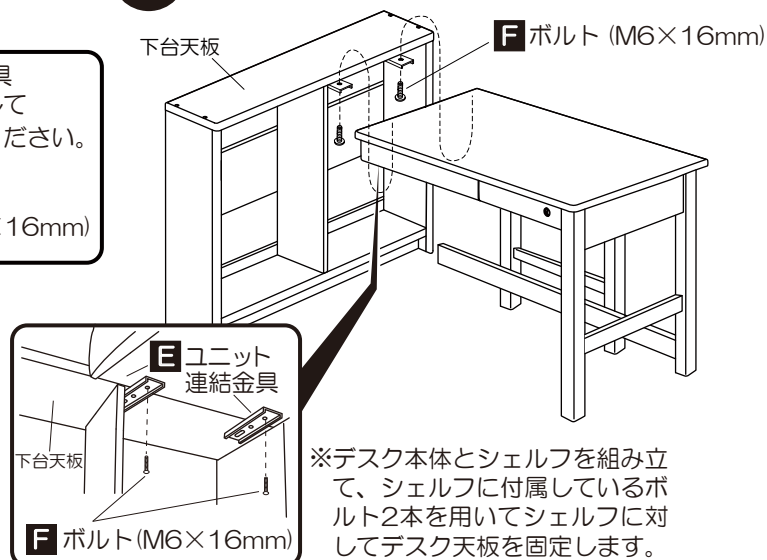
※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(この真下の図)
右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

■拡張天板を取り付けていない場合

① E ユニット連結金具の取付け

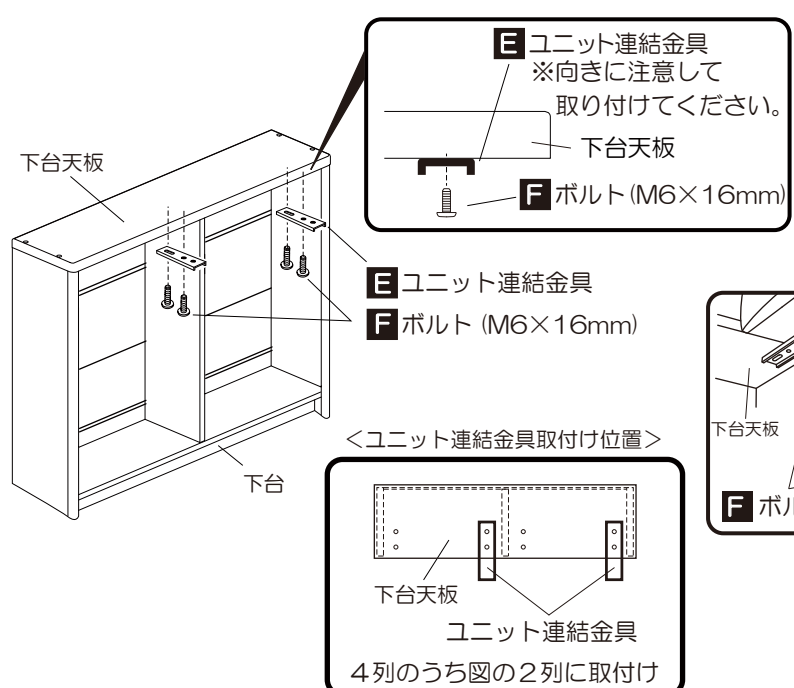


② 下台とデスクの組付け

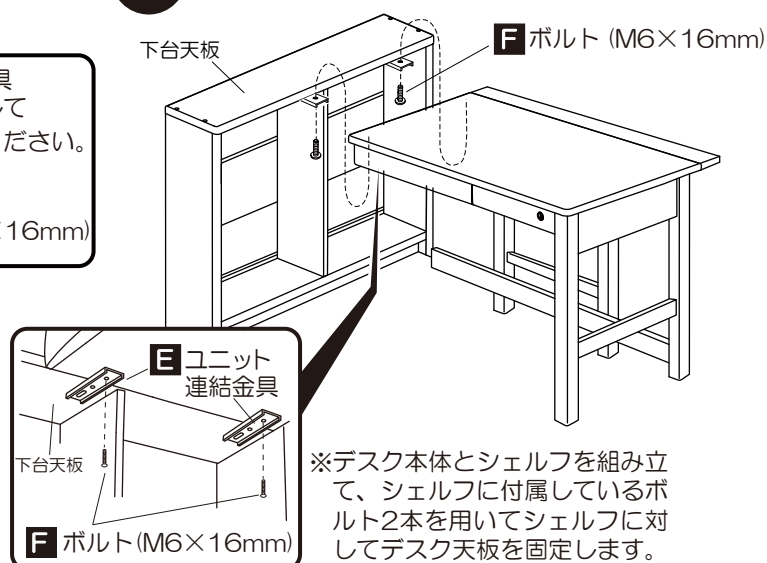


■拡張天板を取り付けている場合

① E ユニット連結金具の取付け

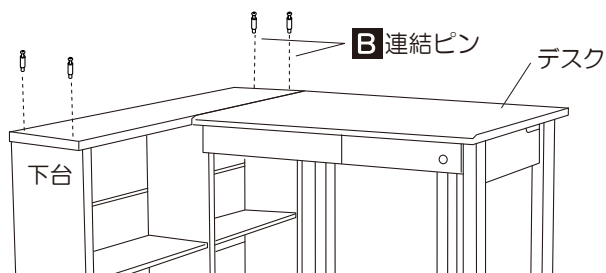


② 下台とデスクの組付け



STEP2の場合

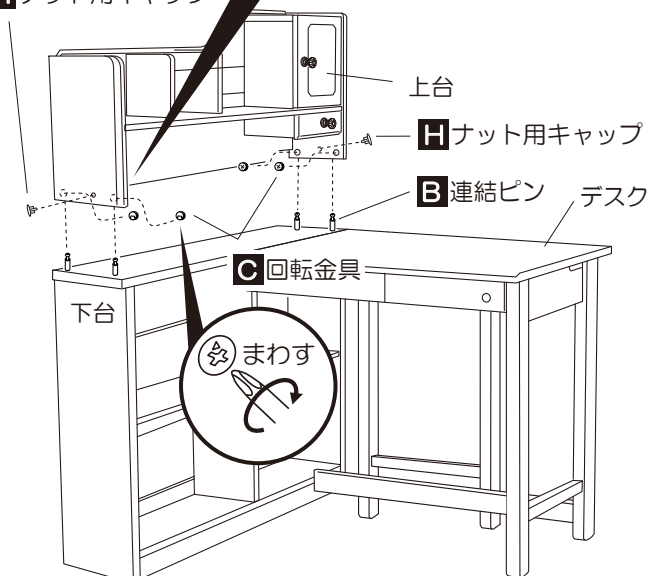
③ B 連結ピンの取付け



④ 上台と下台の取付け

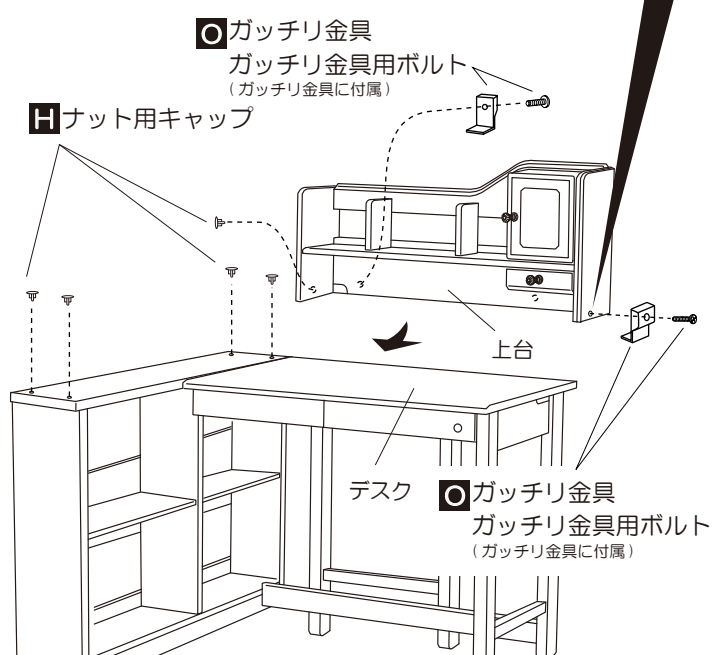
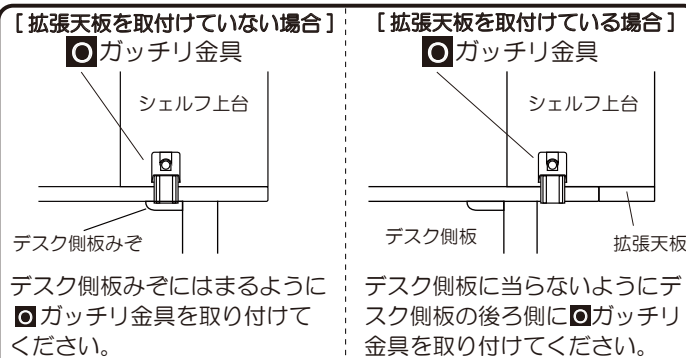


H ナット用キャップ



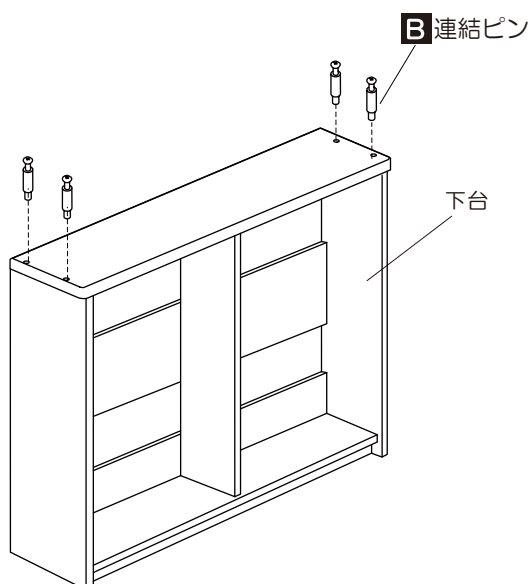
STEP3の場合

③ デスクと上台の組付け

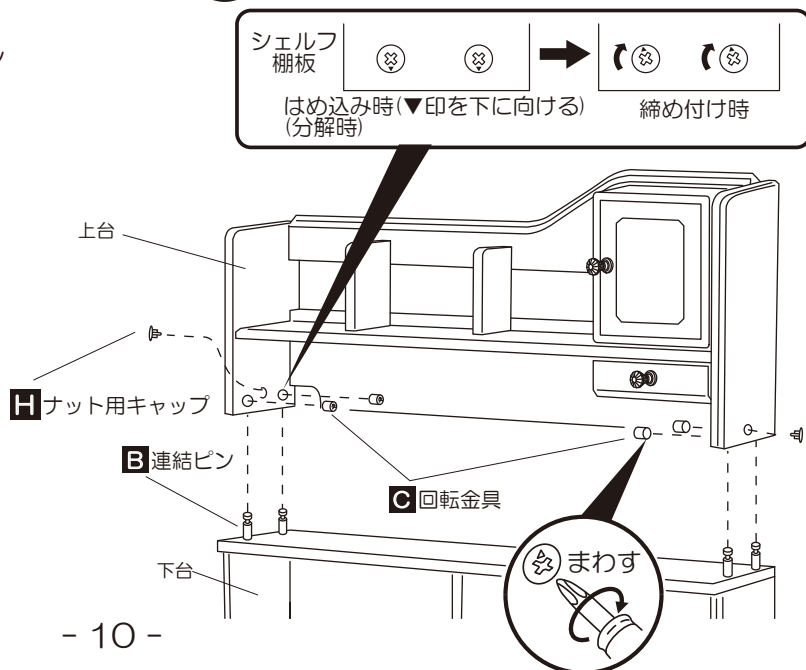


STEP4の場合

① B 連結ピンの取付け

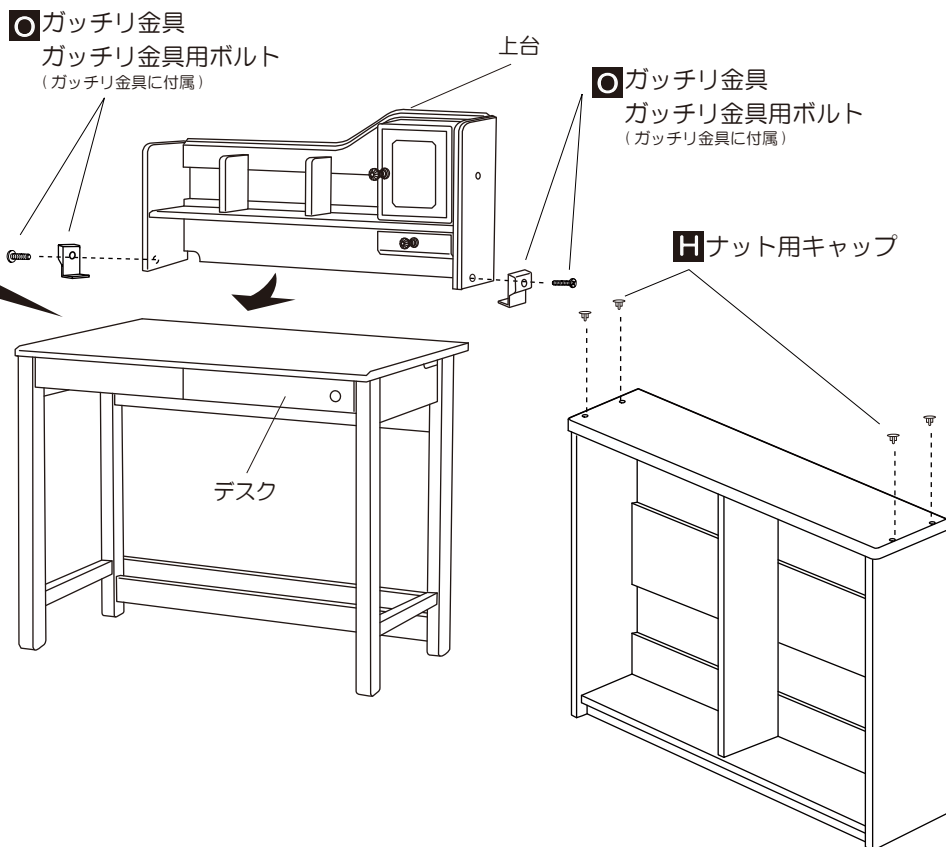
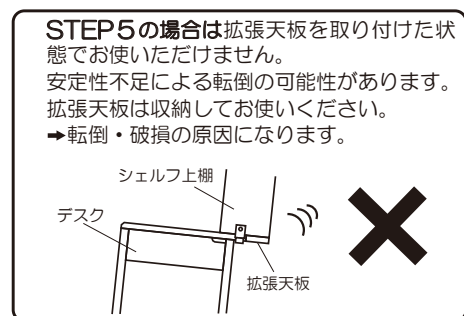
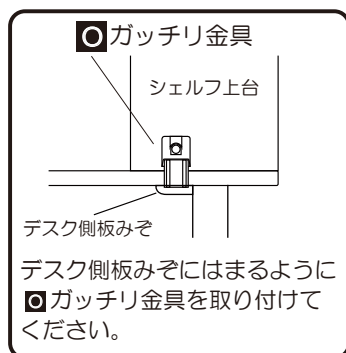


② 上台の組付け



STEP5の場合

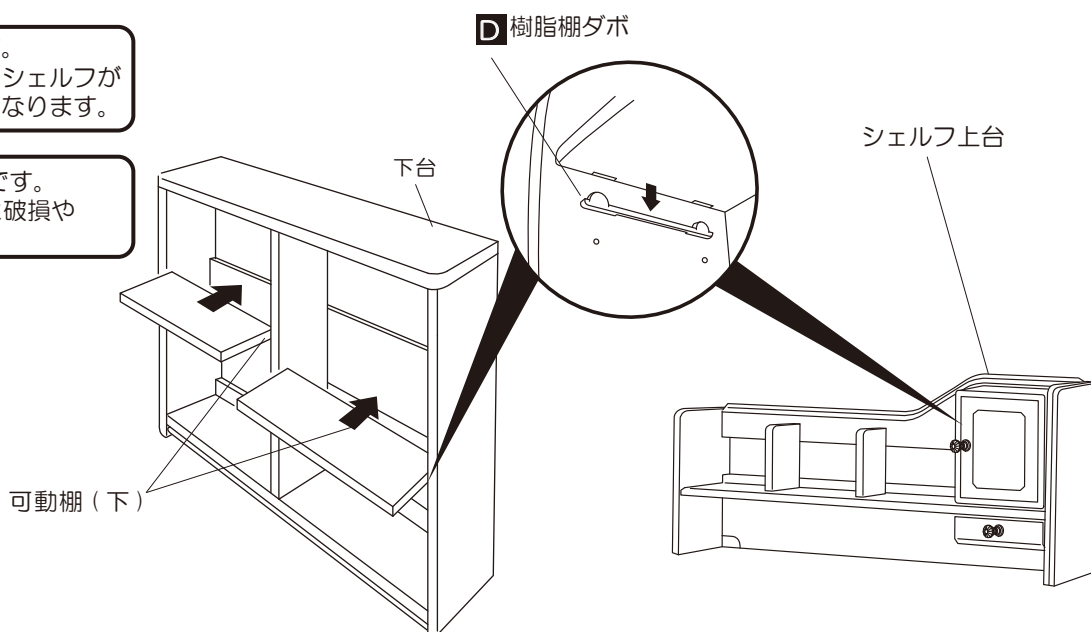
■デスクと上台の取付け



4 可動棚の取付け方法

①引出しの耐荷重は1 kgです。
→1 kg以上のものを入れるとシェルフが
倒れて破損やケガの原因になります。

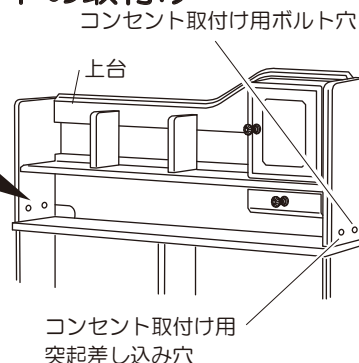
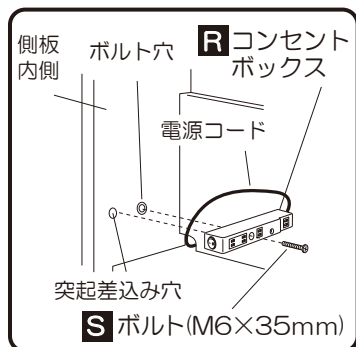
①可動棚の耐荷重は 15 kgです。
→15 kg以上のものをせると破損や
ケガの原因になります。



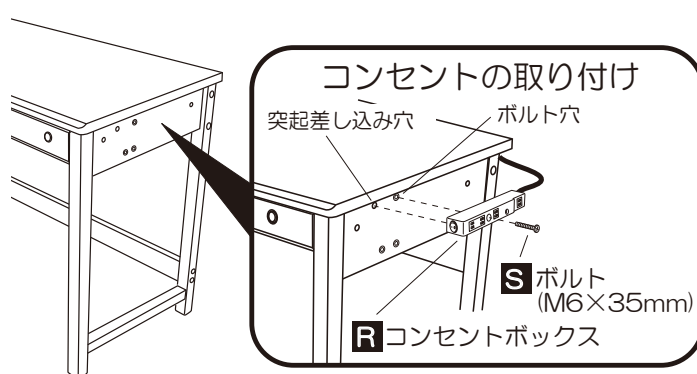
5 コンセントの取付け方法

※コンセントボックスを取付けない箇所の突起差し込み穴には**G**穴かくしキャップを、ボルト穴には**H**ナット用キャップをはめ込んでください。

■上台へのコンセントの取付け



■デスクへのコンセントの取付け

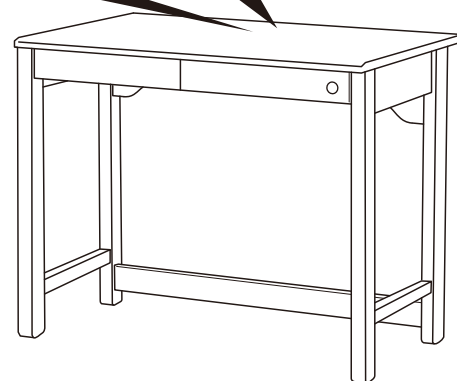
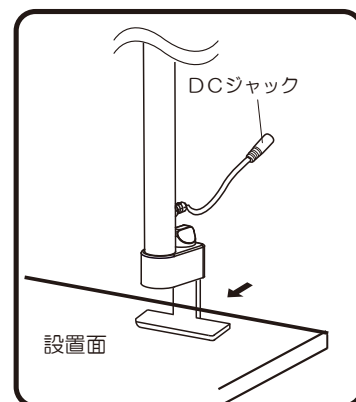
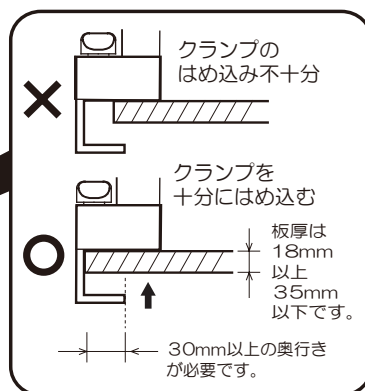
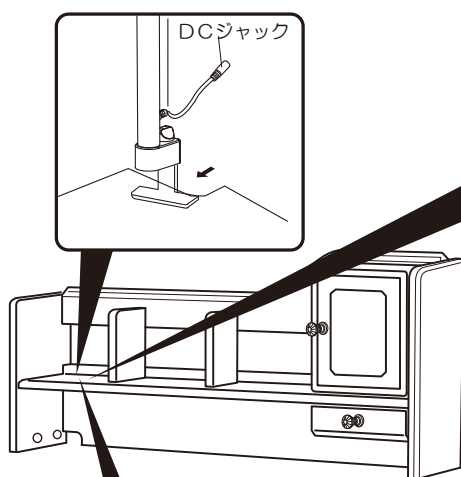


6 ライトの取付け位置について

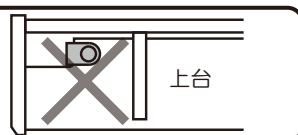
STEP1・STEP3・STEP5の場合

※上台の固定棚のカキトリ部分に、照明器具のクランプを固定し、照明器具を取付けてください。

STEP2・STEP4の場合

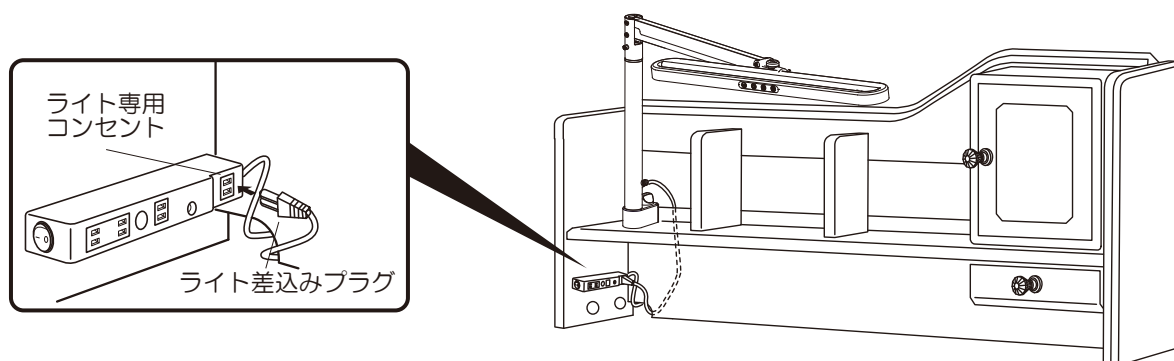


○ 上台の固定棚のカキトリ部分に、横向きに取り付けしないでください。
→ 正しく取り付けられず、灯具が転倒し
キズ・破損の恐れがあります。



7 ライトとコンセントの結線

※コンセントボックスの一番奥のコンセントにライトの差込みプラグを差し込んでください。ライト専用コンセント以外のコンセントに、ライトの差込みプラグを差し込んだ場合コンセントボックスのスイッチでのライトの点灯・消灯はできません。



8 ランドセルハンガーとカバンフックの取付け方

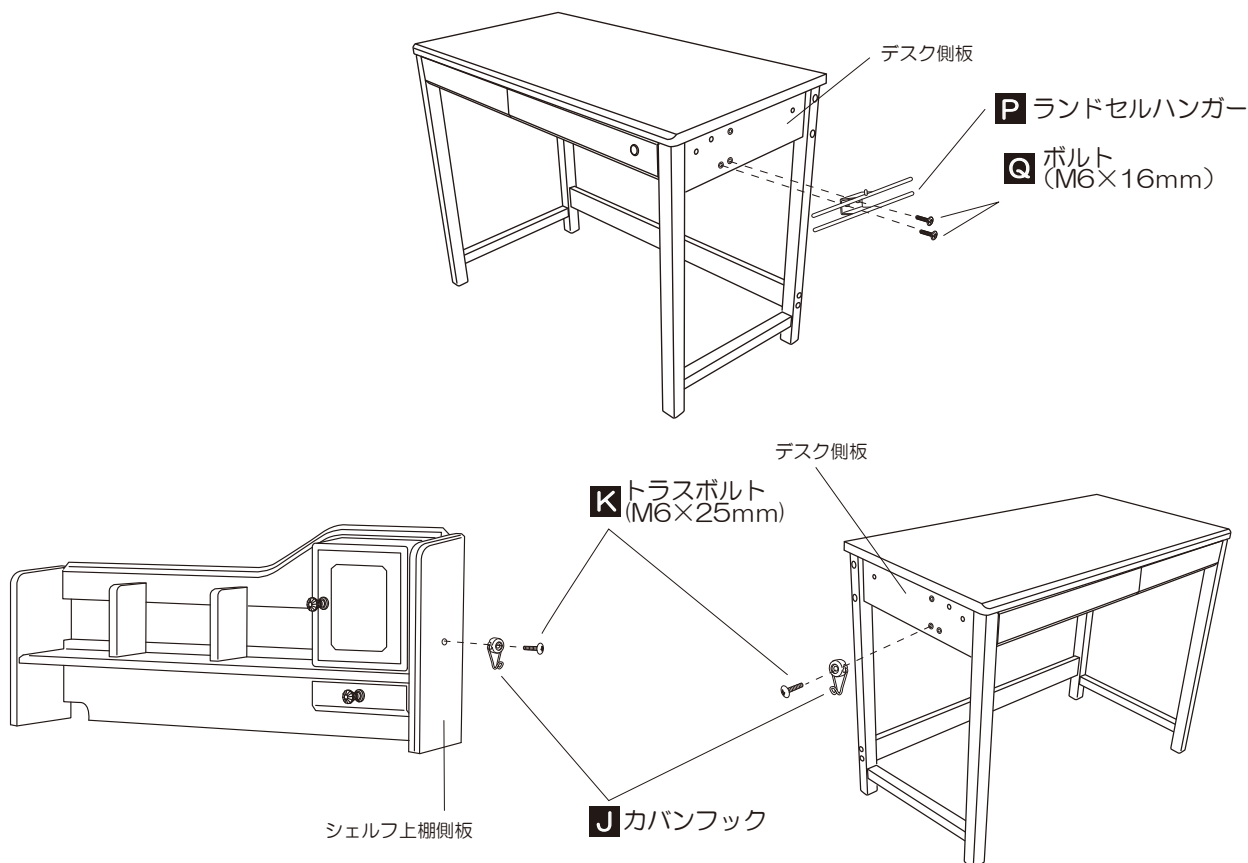
①デスク側板の左右いずれかに、ランドセルハンガーとカバンフックをそれぞれの専用ボルトを用いて取り付けてください。
(カバンフックはシェルフ上棚の側板左右にも取付けできます。)

②ランドセルハンガーとカバンフックを取付けない箇所のボルト穴には **H** ナット用キャップをはめ込んでください。

※ランドセルハンガーは、中央の引っ掛け部が上になるようにして取り付けてください。

※ランドセルハンガーの使用方法については別紙で付属しております取扱説明書の、【ランドセルハンガーの使用方法】をご覧ください。

① ランドセルハンガーとカバンフックの耐荷重は 10 kg です。
→ 10 kg 以上のものを掛けると破損やケガの原因になります。



9 ワゴンの組立て方法

※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

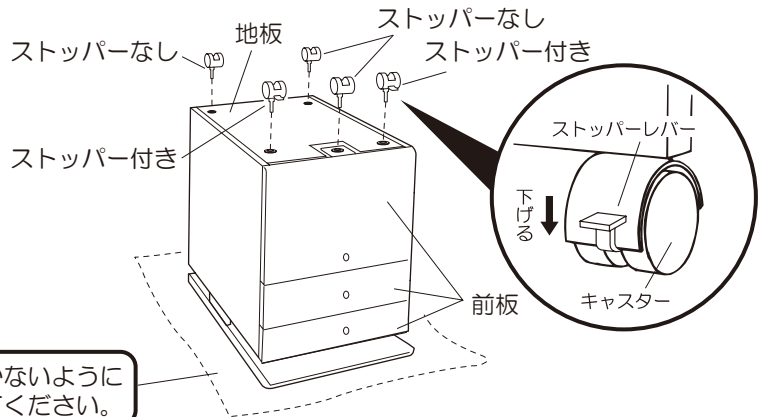
■キャスターの取付け

- ① 地板の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側にストッパー付きキャスター（2個）を取り付けてください。
- ② 下段引出しの下のカスター取付け穴に、キャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。
 - ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。
 - 移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押下げてください。

ワゴン付属部品			
キャスター (5 個入り)	ペントレー	仕切板 (下引出し用)	取手
SZC9WC94G	WIN3PE52W		
×1 セット	×1	×2	×3 セット

※キャスター1セットは、ストッパー付きが2個、ストッパーなしが3個となります。

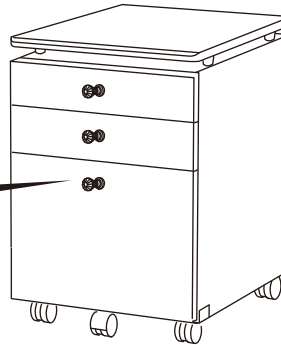
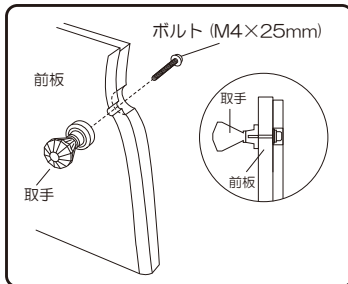
※取手はデスクの色により色が変わります。
PWPM 色にはピンク色 (SZC2TO02P)
PWPM 色にはパープル色 (SZC4TO2PR)
の取手が付きます。



① 床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。

■取手の取り付け

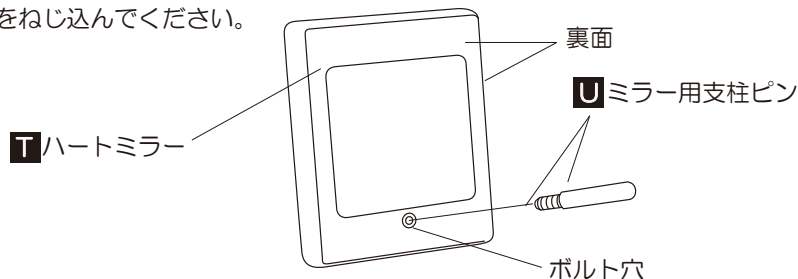
※お買い上げ時、ワゴンの取手は引出しの内側に梱包してありますので、下記の図を参照して取付けてください。



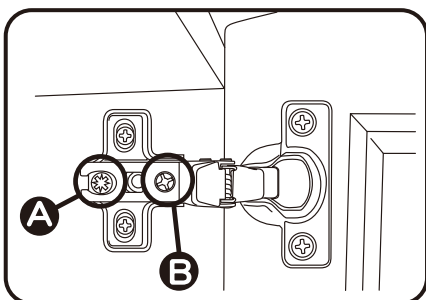
⊙ 取手を持って動かしたり、持ち上げたりしないでください。
→ 転倒してケガや、破損の原因になります。

10 ミラーと支柱ピンの取付け方法

裏面のボルト穴にピンをねじ込んでください。

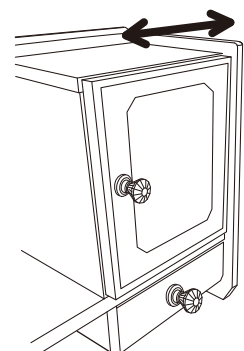
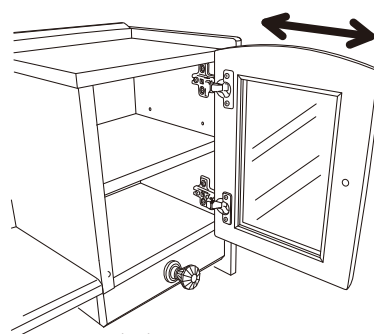


11 扉の調整方法



Aのボルトをドライバーでゆるめると、扉を前後方向に微調整できます。
調整後、またボルトを締め付けてください。

Bのボルトをドライバーで回転させると、扉を左右方向に微調整できます。



分解と組替え方法

- 引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- スタイルを組替えする場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立てしてください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、
組み替えの際には一度ご確認ください。<http://kagu.koizumi.co.jp/>

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.